

令和5年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立上野高等学校 (定時制))

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		1 生徒が学びがいを実感する学校 2 保護者・地域が頼りがいを実感する学校 3 教職員が働きがいを実感する学校
(2)	育みたい 児童生徒像	1 挨拶を大切にする生徒 2 気づきを大切にする生徒 3 命を大切にする生徒
	ありたい 教職員像	1 自由闊達な職場風土の中で協働と研修を通して職能成長を図る教職員 2 生徒の成長に使命と情熱を感じる真の教育専門職を目指す教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<生徒> 確かな学力の育成と進路希望を実現し、居場所のある安心安全な学校 <保護者> 一人ひとりを大切にし、学力や社会性が身につく学校 <中学校> 一人ひとりの生徒の個性を生かし伸ばしていく学校 <地域・企業・事業主> 基礎学力、社会性、協調性、コミュニケーション力など調和のとれた生徒を育成する学校	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		連携する相手からの要望・期待 <保護者> 一人ひとりを大切にしたい教育と進路実現 <事業主> 社会人としての教養やマナーの定着	連携する相手への要望・期待 <保護者> 教育活動への理解と協力 <中学校> 支援の必要な生徒への情報共有や連携した指導 <地域の関係機関> 生徒の実態理解と支援
(3) 前年度の学校関係者評価等		○中学校でうまく人間関係がつかれず、学校に登校しづらかった生徒や外国人生徒に対して、丁寧で細やかに指導がされている。今後も継続して取組を進めてもらいたい。 ○社会性、協調性、コミュニケーション力等、調和のとれた生徒の育成を継続して行ってほしい。 ○行事に参加した際、大変和気あいあいとした雰囲気であったのをうれしく感じた。	
(4) 現状と課題	教育活動	○不登校経験のある生徒や外国人生徒の増加に伴い、生徒同士や教職員に対するコミュニケーション能力の育成や日本語教育が必要である。 ○成人生徒の入学や他校からの転・編入生徒が増加する中、本校の教育にうまく適応できる環境の整備に取り組む必要がある。	
	学校運営等	○家庭における経済的な困窮や教育力の低下、家庭基盤の脆弱な生徒の増加に対応するために外部機関と連携した取組を進める必要がある。 ○多様化する生徒や保護者に対応するため、教職員の研修の機会を確保し、様々な研修を通して教職員の資質の向上に取り組む必要がある。	

3 中長期的な重点目標

教育活動	1. 生徒が学びがいを実感する学校 全教職員による共通理解の下、生徒の『自己指導能力』（その時、その場で、何をすべきで、何をすべきでないかを自ら考え、判断し、行動する能力）を向上させる共通実践を継続する。生徒一人ひとりが自律的な学習習慣と生活態度を確立して進路希望を実現させるとともに、さまざまな活動を通して、主体的・協働的な態度、他者と共生する力の向上に向けて教育活動を進める。

2. 保護者・地域が頼りがいを実感する学校

卓越した魅力ある教育活動の推進、学校情報の積極的な提供・発信、学校関係者評価委員会・人権教育推進協議会の活性化、適切迅速な対応などにより、保護者・地域の満足と信頼の安定的確保に向けて取り組む。

3. 教職員が働きがいを実感する学校

活気のある明るい組織風土の中で教育活動・学校運営を継続的に改善するための仕組みや教職員間・校内組織間のチームワークが適切に機能するとともに、過重労働緩和・総勤務時間縮減に関する取組が適切に講じられており、全教職員が満足できる組織作りに取り組む。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
1. 生徒が学びがいを実感する学校	<p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○非常勤講師を含めたすべての教員が、ICTの活用やアクティブラーニングの視点を取り入れた授業を行うとともに、互いに協力し問題解決力を高める学習指導を実施 ○人権学習会を2回以上実施する ○登校指導を定期的に行う ○外国につながるのある生徒に対して日本語習得支援を行う ○進路面談や進路ガイダンスを行うとともに、ハローワークや就職実現コーディネーターと連携した進路指導の実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒アンケートで「安心して学習できる」100% ○生徒アンケートで「困難だと思ふことでも、前向きに考えて挑戦している」が100% ○生徒アンケートで「総合的な探究の時間」における「取組満足度」95%以上 ○生徒アンケートで人権教育満足度 100% ○日本語習得支援に係る授業への参加者5名以上 ○生徒アンケートで「働くこと」への理解度 80% 	(年度末および適宜記載)	◎ ※ ◎
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
2. 保護者・地域が頼りがいを実感する学校	<p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全教職員が年1回以上の研修を行う ○保護者対象の授業公開を年1回以上実施する ○学校通信「道標(みちしるべ)」、「ほけんだより」を発行し、ホームページにも掲載 ○保護者懇談会(三者面談)を年間2回開催 ○中学校との情報共有を定期的に行う <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケートで「学校通信により、学校の様子がわかる」と回答した割合 100% 	(年度末および適宜記載)	※ ※ ※
3. 教職員が働きがいを実感する学校	<p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員研修会、他校との合同研修会の開催 ○毎週金曜日を定時退校日とし、設定した日の定時に退校できた職員の割合 100% ○週1日以上以上の休養日を設定できた部活動の割合 100% ○60分以内に終了した会議の割合 90%以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人当たりの月平均時間外労働時間 30時間以下の職員の割合 100% ○一人当たりの年間休暇取得日数を20日以上 ○月45時間を超える時間外労働者の延べ人数0人 ○年360時間を超える時間外労働者の人数0人 		
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

明らかにした改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
--------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)